

## 集中ケア認定看護師の活動紹介

集中ケア認定看護師 村田 安隆×望月 誠



集中ケア認定看護師の役割は、生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測した重篤化の予防、廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施です。

集中ケア領域は、関連する科や疾患が多岐にわたり、意識・循環・呼吸・代謝・栄養など多くの知識・技術が必要とされます。広域な知識・技術を学ぶと共に、さらに専門性を高めていけるよう日々努力しています。

当院のHCUでは、2名の集中ケア認定看護師が在籍し、日々患者の看護・ケアに従事しています。専従ではないため、いちスタッフとして日常のHCUの業務を実践しながら、所属部署の後身指導、院内研修の講師、各部署が企画する勉強会、所属する委員会での活動、活動日における各部署へのラウンドなどを行っています。



私は2012年に集中ケア認定看護師資格を、2019年にNST(栄養サポートチーム)専門療法士資格を取得しました。院内ではNST委員会に所属し医師を中心とするチームのコメディカルとともに活動しています。

栄養状態の悪化は集中ケアが必要とされる重症患者が必ず合併していると言っても過言ではない症状の一つです。対象患者に必要な栄養素やカロリーをどのようにすれば食事として経口摂取できるのか、また、重症であればあるほど経口摂取は難しいので、経静脈、経腸栄養の段階においても、介入が必要な患者はいないかリサーチし、対象患者に対しては栄養状態改善に向け何が必要かNSTチームスタッフ全員で考え、最適な方法を実践しています。



Mochizuki

集中ケア認定看護師  
NST専門療法士



Murata

集中ケア認定看護師

私は、2017年に集中ケア認定看護師資格を取得しました。現在、院内では呼吸ケア委員のメンバーとして毎週金曜の呼吸ケア回診を中心に活動しています。

回診では、医師やコメディカルなど他職種のメンバーと共に呼吸器装着患者の全身状態の評価、呼吸器離脱に向けた対策を中心に意見を交わし、病棟スタッフと情報共有し呼吸器装着患者のアウトカム(結果)が高まるよう活動しています。

また、院内教育の講師や静岡市立清水看護専門学校でのフィジカルアセスメントの講師などスタッフ指導や後輩教育も担当しています。全てのスタッフが常に患者・家族を中心とした根拠のある看護・ケアが提供できるように、スタッフへの知識・技術の指導をしています。